R18
Girls Love

彩葉／ヤチヨ
Iroha／Yachiyo



八千星を巡って

Around the Stars of Yachiyo

八千の星巡

八千の星を巡って

presented by
umaura.









本作は、非公式の二次創作同人誌です。個人が楽しむ目的で制作しており、公式および関係者様とは一切関係ありません。
以下の要素が含まれますので、苦手な方は閲覧をお控えください。

・映画本編の改変、及び本編では描かれなかったシーンの勝手な補完　・彩葉とヤチヨの性的描写（R-18）
・独自の解釈や捏造による、公式設定からの逸脱およびキャラ崩壊

また、作者（るべ）の独自設定を、公式の事実のようにSNS等で広めること（公式との混同）は固くお断りいたします。

以上の内容をご理解いただき、お約束を守れる方のみページをめくってください。

いつかここを
出られたら

お前さんと
旅にでも
出ようかねぇ

……おや、
お前さんかい

ふふっ、
ご覧のあり様さ
みっともない姿を
見せてすまないねぇ

なぁに、
この吉原じゃあ
よくあることさね

いずれ
こうなるだろうとは
思っていたのさ

ただ、一つ心残りが
あるといえば……

お前さんとの、
あの旅の約束
くらいかねぇ

悠久の時を
巡る最中に

数え切れない
ほどの星が
去っていく様を
見届けた

どこにも行ける
自由は許されても、

どこにも
存在できない

観測者にも、
傍観者にも
何者にもなれない
私は

生きているといえるだろうか——

はっ

ヤチヨ……？

はぁ……

はぁー……

……彩葉

大丈夫？ずっと
うなされていたよ

はぁ…
はぁ…

……

びくっ



ん

ふっ

……怖い夢
でも見た？

……

はっ

ぱっ

……お願い
何も
聞かないで

今は抱いて……

トン
トン
トン

ふっ♡
んぁん♡
はぁー…
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ふー…
つ♡
びくっ
んっ♡
ちゅっ♡
はっ
ちゅっ♡
ちゅっ♡
くちゃ♡
くちゃ♡
これ好き？
くちゃ♡
くちゃ♡
やっ
はあっ
びくっ
あ♡
くちゃぬちゃ

いろはっ

びくっ

あ

はぁ…

はぁ…っ♡

はぁ…

ギュッ

ソワソワ

ゴクッ

ぁっ♡ぁっ

はっ…♡

っ♡

ビクッ

ぁっ♡

ぬちゅ

ちゅ…

ぴくっ

はぁ…♡

ぴくっ

いろは

いろ、は……っ

はぁ…♡

はっ…♡

ちゅぷっ

ぬちゅ

ぁ♡

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

……少し
落ち着いた？

はあ…

はあー

はあー

……

はあー

はあー

……夢を、
見たの

私が見たそれが
「夢」と呼べるかは
わからないけど……

一番近い言葉を
探すなら、
きっとそう

数えきれないほど
人と巡り逢えて

お別れも
たくさん
経験したの

でも、私は
いつもなにも
できない
ただ見てるだけ

私は……
生きているって
言えるかな

……誰が
何と言おうと

ヤチヨは
『生きている』って、
私は言い切るよ

たとえヤチヨ自身が
不安になって
自分を疑うとしても

ぎゃっ

私は、
ヤチヨのおかげで
生きているの

きっと
ヤチヨが今まで
会ってきた人たちも

私みたいに
ヤチヨに
救われていたはず

人を救って、
人と繋がってる
……誰よりも、
人間だよ

……私は
誰よりも人間らしい
ヤチヨ(かぐや)が誰よりも
幸せになってほしい

ハッピーエンドを
迎えるまで、
一緒に歩みたい

うる…

その、一応、
そのために
人生かけてる
……からさ

かあぁ…

あなたから
与えられる言葉
ひとつひとつで

どうしようもなく
胸が高鳴る

トクン
トクン
トクン

「私は生きている」——そう、自覚させられる

きっと

あなたという星と
出会うために
星を巡ってきたんだ





今も私は
閉じ込められたまま

でも、今は――


——あなたがいる
彩葉
八千年間、
タケノコの中に
在り続けた理由も
私が私でいられる、
存在意義も、
人間として
生きていきたいと
思えたのも
すべて、
彩葉がいたから

彩葉

私のすべては
彩葉だよ



八十の里を巡って

あとがき

ここまで読んでいただきありがとうございます。
前回の本ではあとがきを書くページがありませんでしたが、
(ページを増やしたかったけど仕様変更ができず、
注意書きとあとがきと奥付をまとめることで作画ページを捻出しました……)
その分、今回の本にはたくさん書きます！
なんなら前回書けなかった分もここにぶつけます。そのための見開きページです。

読んでいるうちにお気づきかと思いますが、実は前回の本とある程度
繋がっているというか、前回の本が「彩葉からの想い」だとするなら、
今回は「ヤチヨ(かぐや)からの彩葉へのアンサー」のような内容です。
※わたしはヤチヨはかぐやで、かぐやはヤチヨというスタンスです。
あの夏を過ごしたかぐやはヤチヨで、彩葉を想いながら八千年を過ごし、
ずっと彩葉を見守ってきて、その先の10年間を一緒にいたヤチヨはかぐやです。
だって、あのかぐやもヤチヨですから。

どちらも本編が軸になっていますが、やっぱり「すべて」というキーワードで
お気づきの通り、例のラジオもまた軸になっているお話です。
だって、N◯Kラジオであんなにイチャイチャするのろけ話を聞かされるとは
思わないじゃないですか……ずるいですよ、あんなもん。

きっと、10年間ヤチヨと彩葉の間に本当にいろんなことが
たくさんあったと思います。
幸せなこともあったけれど、辛かったり哀しかったり寂しかったり。
想いが先走って上手くいかなくても、
それでも繋がりたい、伝えたい、満たされたい、満たしたい。
お互いが、お互いの存在する理由になって、
見つめ合うだけでキラキラ輝く世界で生きていてほしい。
どうか幸せでありますようにと、ただそれだけの想いを込めました。

いや、オタクが願わなくても、彩葉はヤチヨとかぐやをハッピーエンドまで
連れていきますけどね！でも！やっぱりオタクの妄想が捗ってしまうし、
省略されたあれやこれやが見たくて！その結果が前回の本とこの本です。
色々原作改変してしまったところも多くて申し訳ないです。

ちなみにこの本の時点では、義体はまだ、ツクヨミの五感もほぼ再現できてる
けど味覚はまだ……といった設定です。なのにお二人は仲良ししてる？
そこはご都合というか、管理者権限と酒寄所長のお力添えあっての
お二人だけの特別仕様ってことで。
オタクはご都合のいい解釈と設定が好き。主語でかくしてごめん。

それでも、あとがきを書くこの時だから言えることですが、
たくさん悩みながら、苦しみながらも描き進めてよかったと改めて思いました。

次回の新刊は、受かれば冬コミです！
その前に、合同誌や小説の表紙・挿絵などのお手伝いはあるかもしれません。
冬コミでもまた、自分が描いて楽しい本を出します。
私が楽しいだけですが、もしよろしければまたお付き合いいただけたら嬉しいです。
それでは、また機会がありましたらお会いしましょう。

2026.09 るべ

Special thanks to
うみのえいさん、里見真一さん、イム・ぽてむさん、ちょりsowさん、はやかわめぐるさん
原稿校正のご協力＆原稿中限界までお付き合いいただき、ありがとうございました！

マシュマロ▶
感想やメッセージなどお気軽に送ってもらえたら嬉しいです！

八星巡るっての千夜

Around the Stars of Yachiyo

presented by umaura.